

日本語教室の親睦会が開かれました 憧れの浴衣を着て盆踊りに参加しました

清水雅弘（日本語教室部会）

暑さのピークが越えた気配の後、台風一過でむしろ暑さが増す中で、8月25日(土)16時半から日本語教室の親睦会が開催され、京成津田沼サンロード6階大会議室に100名を超える参加者が集まりました。

事前に浴衣の着付けを予約していた学習者たちは気に入った浴衣を選んで着付けをしてもらいました。小さな子どもたちも可愛く着せてもらい、会場に入って楽しそうに写真を撮り合っていました。

今年は例年より家族連れも多く、盆踊り本番前の練習では小さな子どもが輪の中に入って、みんなの踊りを見よう見まねで踊っている姿は特に愛らしかったです。

18時半ごろから、京成津田沼駅前ロータリ

ーに降りて、盆踊り会場の櫓の周りを、学習者とその家族、ボランティアと一緒に踊りました。学習者たちは覚えるのが早いようで、とても上手に踊っていました。

踊りを終えて6階会場に戻ったの歓談においても、ボランティアと学習者のみならず、学習者同士も楽しくおしゃべりをして仲良くなっていましたようです。

年々参加者が増えて、日本の一つの文化を各国の人たちがそれぞれの国に伝えてくれているような気がします。

特に外国の方は着物を着てみたいが着る機会がなく、浴衣を借りて着付けをしてもらえることを楽しみにしているようです。

来年の開催も期待します。



6階大会議室の親睦会場で賑やかに歓談しました



浴衣姿で踊りの輪に入り、音頭に合わせて踊りました